

<一般委託>

公共下水道管路施設維持管理業務委託（その2）（一般委託）仕様書

公共下水道管路施設維持管理業務委託（その2）に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	処理開始区域内管路施設の流下機能を保持し、当該施設の機能を正常な状態に保つため管路施設の清掃業務、および発生する汚砂等の産業廃棄物運搬業務を委託するものである。														
2	履行期間	令和5年10月1日から令和6年3月31日														
3	施行場所	横須賀市公共下水道供用開始区域														
4	業務内容	<table border="0"> <tr> <td>(1) 管渠清掃業務</td> <td>10,000m</td> </tr> <tr> <td>(2) 伏越管渠清掃業務</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td>(3) 雨水調整池清掃業務</td> <td>3か所</td> </tr> <tr> <td>(4) 産業廃棄物運搬業務</td> <td>181t</td> </tr> <tr> <td>(5) 汚水ます清掃業務</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>(6) 緊急調査出動費</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>(7) 交通誘導警備業務</td> <td>100人</td> </tr> </table> <p>（注 この数量は予定であり、発注量を保証するものではありません。）</p>	(1) 管渠清掃業務	10,000m	(2) 伏越管渠清掃業務	2か所	(3) 雨水調整池清掃業務	3か所	(4) 産業廃棄物運搬業務	181t	(5) 汚水ます清掃業務	15回	(6) 緊急調査出動費	5回	(7) 交通誘導警備業務	100人
(1) 管渠清掃業務	10,000m															
(2) 伏越管渠清掃業務	2か所															
(3) 雨水調整池清掃業務	3か所															
(4) 産業廃棄物運搬業務	181t															
(5) 汚水ます清掃業務	15回															
(6) 緊急調査出動費	5回															
(7) 交通誘導警備業務	100人															
5	特記事項	<p>「公共下水道管路施設維持管理業務委託（その2）特記仕様書」「産業廃棄物処理作業（汚泥・市外）特記仕様書」「産業廃棄物処理作業（汚泥・市内）特記仕様書」「産業廃棄物処理作業（混合廃棄物）特記仕様書」のとおり。</p> <p>また、当該予算が本市議会で承認され、委託者と受託者の両者が合意した場合、令和6年4月1日から9月30日まで同内容の業務について、同一単価で随意契約にて委託をする予定。</p>														
6	関係法規	廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
7	資格要件	<p>本業務履行については、下記の資格をいずれも有すること。</p> <p>(1) 産業廃棄物収集運搬業の許可(汚泥) (神奈川県知事の許可)</p> <p>(2) 産業廃棄物収集運搬業の許可(廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類) (神奈川県知事の許可)</p>														
8	契約方法	単価による業務委託契約（一般委託） 単位は別紙特記仕様書のとおり														
9	支払方法	<p>本件は各月末締めをもって受託者の請求により精算する。</p> <p>各単価に数量を乗じた金額は、円未満切捨てとする。</p> <p>消費税として精算額に、その税率相当額を加算（円未満の端数切捨て）するものとする。</p>														
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。														
11	監督員 連絡先	横須賀市上下水道局 技術部 下水道管渠課 中田知孝 電話 046-822-8396														

<指示又は希望事項>

グリーン物品購入 及び ISO関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ横須賀のグリーン購入参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム（YES）により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
-------------------------	--

公共下水道管路施設維持管理業務委託(その2)

(税抜き)

作業名	予定数量	単 位	上限単価 (円)	契約単価 (円)
高圧洗浄車清掃業務	9,000	m	1,392	
吸引車清掃業務	1,000	m	2,913	
吸泥車清掃業務	8	m ³	42,267	
吸泥車清掃業務(夜間)	3	m ³	55,963	
人力清掃業務	10	m ³	22,714	
積込業務	10	m ³	20,292	
汚砂運搬業務(揚泥車、市外)	20	t	34,084	
汚砂運搬業務(揚泥車、市内)	130	t	7,275	
汚砂運搬業務(ダンプトラック、市内)	30	t	5,959	
混合廃棄物運搬業務(ダンプ、市内)	1	t	18,194	
汚水ます清掃業務	10	回	147,880	
汚水ます清掃業務(土日祝日・夜間)	5	回	202,018	
緊急調査出動費	5	回	56,220	
交通誘導警備業務	90	人	31,334	
交通誘導警備業務(夜間)	10	人	47,002	

- ※契約単価は、各項目ごとに定めた上限単価以下とすること
- ※交通誘導警備業務、交通誘導警備業務(夜間)は令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価の『交通誘導警備員B』を下限単価とすること
- ※予定数量に単価を乗じた金額の合計額を入札金額とすること
- ※契約単価は、契約者が記入する。

公共下水道管路施設維持管理業務委託(その2) 特記仕様書

1 委託目的

本委託は横須賀市公共下水道の機能を正常な状態に保つため、施設及び用地の維持管理業務及び発生する産業廃棄物の運搬業務を行うものである。(雨水ますの清掃業務は除く)

2 委託項目

次に掲げる業務について、それぞれの単価で契約する。

(1) 高圧洗浄車清掃業務(φ250mm 堆積率 15%)	m当たり
(2) 吸引車清掃業務(φ800mm 堆積率 15%)	m当たり
(3) 吸泥車清掃業務	m ³ 当たり
(4) 吸泥車清掃業務(夜間)	m ³ 当たり
(5) 人力清掃業務	m ³ 当たり
(6) 積込業務	m ³ 当たり
(7) 汚砂運搬業務(揚泥車運搬、運搬先市外)	t 当たり
(8) 汚砂運搬業務(揚泥車運搬、運搬先市内)	t 当たり
(9) 汚砂運搬業務(4t ダンプトラック運搬、運搬先市内)	t 当たり
(10) 混合廃棄物運搬業務(2t ダンプトラック運搬、運搬先市内)	t 当たり
(11) 汚水ます清掃業務	回当たり
(12) 汚水ます清掃業務(土日祝祭日、夜間)	回当たり
(13) 緊急調査業務(土日祝祭日、夜間)	回当たり
(14) 交通誘導警備業務	人当たり
(15) 交通誘導警備業務(夜間)	人当たり

3 履行条件

本業務委託の履行にあたっては、下記の条件を満足していること。

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律で定められている、神奈川県知事の産業廃棄物収集運搬業の許可(汚泥)、神奈川県知事の産業廃棄物収集運搬業の許可(廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)を得ていること。
- (2) 主要清掃機械(高圧洗浄車、揚泥車、強力吸引車、給水車、ダンプトラック、クレーン付トラック)を常時(年間 365 日 24 時間)待機出来ること。なお、深度がある管渠施設の清掃で超強力吸引車が必要な場合は配備が可能なこと。
- (3) 緊急時においては、土日、祝祭日、昼夜を問わず迅速な対応が出来ること。(大規模災害発生等、やむを得ない場合を除く)
- (4) 公共下水道施設の軽微な補修に関する知識と資器材を有し補修工事を行えること。

4 作業内容

各作業の詳細は「実施要領」による。

5 完了届

月末締めをもって速やかに実施報告書類とともに「完了届」を提出すること。
また、委託代金の請求は業務完了後に行うこと。

6 報告書類

清掃作業の実績について、月ごとに「報告書類」を作成し提出すること。

- (1) 集計表 作業場所と契約項目について、集計表を作成すること。
- (2) 作業日報 作業日ごとに清掃を行なった路線の管記番号、清掃延長、作業員数、汚砂量、使用機械、ガス検知結果表などを記録すること。
- (3) 記録写真 委託名、作業場所、日付が入った黒板とともに各作業の状況、出来形が判別できるよう適宜撮影のこと。また、産業廃棄物の運搬については、運搬日ごとに積込状況、運搬状況(主要な交差点、幹線道路で車両ナンバーが確認できるように撮影)、荷降し状況を撮影し、経路図とともに提出すること。
写真はサービス版カラー写真で、写真帳はA4版とする。

(4) 出来形書類等

ア 一般管渠の清掃

清掃を行った路線について、管径、清掃延長、汚砂堆積深率、発生汚砂量、 $\phi 250\text{mm}$ 、 $\phi 800\text{mm}$ への換算延長(小数点第1位四捨五入、整数止め)を管記番号毎に算出して、「2(1) 高圧洗浄車清掃業務及び(2) 吸引車清掃業務」により延長を報告すること。

(ア) 堆積実績図

管渠清掃を行った管路を堆積深別に下の色分けをした平面図を作成すること。

0 ~ 3cm未満	青色	3 ~ 5cm未満	緑色
5 ~ 10cm未満	茶色	10 ~ 15cm未満	黄色
15cm以上	赤色		

(イ) 換算方法

管渠の換算延長は、清掃延長に管径・堆積深別換算表 別表 A、B より求めた換算係数を乗じて算出する。

また、函渠など円形管でない場合の換算延長は、断面積から管径を堆積量から堆積深を決定し、清掃延長に管径・堆積深別換算表 別表 A、B より求めた換算係数を乗じて算出する。

(例) 口横 1,000 mm × 縦 1,500 mm 平均堆積厚 10 cm の場合

(断面) = $1\text{m} \times 1.5\text{m} = 1.5\text{m}^2 \rightarrow 1,350\text{mm} = 1.431\text{m}^2$ (直近下位)

(堆積深) = $1\text{m} \times 0.1\text{m} = 0.1\text{m}^2 \rightarrow 1,350\text{mm}$ 堆積深 10% = 0.0745m^2 (近似値)

ゆえに 換算管径は、1,350 mm 堆積深 10% と決定する。

ただし、油類の付着が激しい場合は、さらに 1.2 を乗じ補正する。

また、管にモルタル等が相当量固着している場合など標準清掃作業と著しく相違する場合は、作業量等から別途、換算係数を定めるものとする。

イ 水路(開渠)の清掃(浚渫)

清掃を行った水路について、清掃方法ごとに水路断面、清掃延長、汚砂堆積深、発生汚砂量、換算延長(小数点第1位四捨五入、整数止め)を報告すること。

高圧洗浄車等による清掃は、「2 (1) 高圧洗浄車清掃業務及び(2) 吸引車清掃業務」により延長を報告すること。この場合の換算延長の算出方法は、上記函渠の清掃と同様とする。

大断面の水路などでの吸泥車による清掃は「2 (3) 吸泥車清掃業務」により発生汚砂量を報告すること。

人力により水路を浚渫した場合は、「2 (5) 人力清掃業務」により発生汚砂量を報告する。また、クレーン付トラックを使い土砂を積込む場合は、「2 (6) 積込業務」により積込汚砂量を報告すること。

浚渫土に大きな岩が混在している場合など、標準清掃作業と著しく相違する場合は、作業量等から別途、換算係数を定めるものとする。

ウ 伏越マンホール、伏越管渠の清掃

清掃を行った伏越しマンホール、伏越管渠について、堆積量が分かる断面図を作成し、マンホールについては、「2 (3) 吸泥車清掃業務」または「2 (4) 吸泥車清掃業務(夜間)」によりマンホール内の堆積汚砂量を、伏越し管については管径、清掃延長、汚砂堆積深率、 ϕ 250mm、 ϕ 800mm への換算延長(小数点第1位四捨五入とし、整数止めとする)を報告すること。

ただし、潮待ち作業など時間的な制約がある場合など標準清掃作業と著しく相違する場合は、作業量等から別途、換算係数を定めるものとする。

エ 雨水調整池の清掃

清掃を行った雨水調整地について、側溝、泥だまり、スクリーンなどの施設の位置、大きさを明示した平面図に清掃箇所、清掃方法を示し、清掃方法ごとに清掃延長、発生汚砂量を報告すること。清掃の内訳は、イ 水路(開渠)の清掃(浚渫)と同様とする。

オ 汚砂の運搬

汚砂の収集・運搬業務については、それぞれの運搬に応じたマニフェストB2票とともに報告すること。

カ 混合廃棄物の運搬

維持管理業務で発生した廃プラ類等の汚砂以外の産業廃棄物の収集・運搬業務については、それぞれの運搬に応じたマニフェストB2票とともに報告すること。

キ 汚水ますの清掃

清掃を行った汚水ます及び取付管については、位置図、断面図を作成し昼間施行、夜間施行と分けて報告すること。また、施設に不具合(破損、閉塞等)があった場合は、断面図に管種、閉塞箇所を示し原因も合わせて報告すること。

ク 緊急調査業務

土日祝祭日、夜間において、緊急に調査した日時、場所、調査内容及び処理方法を報告すること。

ケ 交通誘導警備業務

交通誘導警備員を配置した際は、警備日報(写し可)を提出すること。

コ その他

上記のアからケの作業以外を行った場合は、日時、場所、作業内容を報告すること。

7 賠償責任及び補償

- (1) 受託者は、下水道施設に損害を与えた時は、直ちに水道局監督員に報告し、その指示を受けるとともに、速やかに原状復旧すること。
- (2) 受託者は、作業にあたり、万一注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えた場合は、その復旧及び賠償に全責任を負うこと。

8 機密保持

この業務に関連して業務上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。

9 協議

この仕様書に記載されていない事案が生じた場合は、事前に水道局監督員と協議のうえ承諾を得て施行するものとする。

10 その他

受託者は、本委託を一括して他人に請け負わせてはならない。

管渠清掃業務 実施要領

- 1 清掃業務は横須賀市下水道土木工事共通仕様書に従い実施すること。ただし、本実施要領に記載された事項は、横須賀市下水道土木工事共通仕様書に優先するものとする。
- 2 緊急に対応が必要な場合は、「緊急指示書」により依頼するので速やかに対応を図ること。ただし、土日、夜間などの閉庁時の緊急の指示は、水道局監督員等の口頭指示を「緊急指示書」に代えるものとする。
- 3 作業区域内は、必要に応じて交通整理員を配置し、車両及び歩行者の通行の誘導、並びに整理を行わなければならない。
- 4 土日、祝祭日、夜間など閉庁時に緊急な出動の依頼があった場合は、明らかに公共下水道に関係する案件を除き、初期調査を行ってから清掃作業を行うこと。

5 業務内訳

次に掲げる業務についての詳細は、以下のとおりである。

(1) 高圧洗浄車清掃業務φ250mm(堆積率15%)

本業務はφ200mm～700mmの管渠清掃を行うものであり、吸泥車及び給水車とのセットを標準とし、高圧洗浄車により加圧された洗浄水をノズルから噴射させ、土砂等をマンホールに集め、これを吸泥車で吸い上げる作業とする。

(2) 吸引車清掃業務φ800mm(堆積率15%)

本業務はφ800mm～2,000mmの管渠清掃を行うものであり、吸引車と高圧洗浄車のセットを標準とし、作業員が管路内に入り、吸引車のホースの先端を操作して堆積している土砂等を直接吸上げるまでの作業とする。

(3) 吸泥車清掃業務

本業務は、吸泥車と高圧洗浄車のセットを標準とし、水路(開渠)などにおいて、作業員が吸泥車のホースの先端を操作して堆積している土砂等を直接吸上げるまでの作業とする。

(4) 吸泥車清掃業務(夜間)

本業務は、夜間に吸泥車清掃業務を行う作業とする。

(5) 人力清掃業務

本業務は、水路(開渠)、側溝、雨水調整池内などに堆積している土砂を作業員が掘削、小車運搬(20m程度)し、積込み用のバケツやダンプトラック等に積込むまでの一連の作業とする。

(6) 積込業務

本業務は、道路と作業場所に段差がある水路(開渠)、側溝、雨水調整池内等から発生した土砂をクレーン付トラック等によりダンプトラックに積込むまでの一連の作業とする。

(7) 汚砂運搬業務(揚泥車運搬、運搬先:市外)

本業務は、維持管理業務で発生した有機質汚泥(汚水系)を揚泥車で指定する市外処分地まで運搬する作業である。なお、運搬数量については小数第3位まで計上すること。

(8) 汚砂運搬業務(揚泥車運搬、運搬先:市内)

本業務は、維持管理業務で発生した雨水系の汚泥を揚泥車で指定する市内処分地まで運搬する作業である。なお、運搬数量については小数第3位まで計上すること。

(9) 汚砂運搬業務(4tダンプトラック運搬、運搬先:市内)

本業務は、維持管理業務で発生した雨水系の土砂を4tダンプトラックで指定する市内処分地まで運搬する作業である。なお、運搬数量については少数第3位まで計上すること。

(10) 混合廃棄物運搬業務(2tダンプトラック運搬、運搬先:市内)

本業務は、維持管理業務で発生した廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類などの産業廃棄物を2tダンプトラックに積込み、指定する市内処分地まで運搬する作業である。なお、運搬数量については小数第3位まで計上すること。

(11) 汚水ます清掃業務

本業務は、揚泥車と小型高圧洗浄機とのセットを標準とし、汚水ます内部、取付管に滞留している汚水を小型高圧洗浄機で攪拌し、揚泥車で吸上げるまでの作業とする。

(12) 汚水ます清掃業務(土日祝日、夜間)

本業務は、土日祝日、夜間に汚水ます清掃を行う作業とする。

(13) 緊急出動調査費(土日祝日、夜間)

本業務は、土日祝日、夜間などの閉庁時の緊急な要望等に対応して現場に出動し、対象箇所状況や管理区分などの初期の調査までを行う作業とする。

(14) 交通誘導警備業務

本業務は、交通誘導を行う作業とする。

(15) 交通誘導警備業務(夜間)

本業務は、夜間に交通誘導を行う作業とする。

6 各清掃業務における昼間施行・夜間施行の定義

(1) 昼間施行とは、平日(閉庁日を除く)の8時30分から17時までをいう。

(2) 夜間施行とは、前記以外の日または時間帯をいう。

管渠清掃業務における管径・堆積率別換算表 別表A

昼間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	200~250	300	350	400	450	500	600	700
5	0.48	0.51	0.54	0.60	0.68	0.68	0.96	1.43
10	0.76	0.82	0.92	1.05	1.25	1.31	1.86	2.58
15	1.00	1.10	1.25	1.45	1.78	1.95	2.67	3.64
20	1.21	1.33	1.57	1.86	2.29	2.58	3.48	4.44
25	1.40	1.57	1.86	2.22	2.86	3.20	4.44	5.33
30	1.57	1.78	2.11	2.58	3.33	3.81	5.00	6.15
35	1.74	2.00	2.42	2.96	3.81	4.44	6.15	7.27
40	1.90	2.16	2.67	3.33	4.21	5.00	6.67	8.00
45	2.05	2.35	2.86	3.64	4.71	5.71	7.27	8.89
50	2.22	2.58	3.20	4.00	5.33	6.15	8.00	10.00

管渠清掃業務(夜間)における管径・堆積率別換算表 別表A

夜間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	200~250	300	350	400	450	500	600	700
5	0.60	0.64	0.68	0.76	0.86	0.86	1.21	1.80
10	0.96	1.03	1.16	1.32	1.58	1.65	2.34	3.25
15	1.26	1.39	1.58	1.83	2.24	2.46	3.36	4.59
20	1.52	1.68	1.98	2.34	2.89	3.25	4.38	5.59
25	1.76	1.98	2.34	2.80	3.60	4.03	5.59	6.72
30	1.98	2.24	2.66	3.25	4.20	4.80	6.30	7.75
35	2.19	2.52	3.05	3.73	4.80	5.59	7.75	9.16
40	2.39	2.72	3.36	4.20	5.30	6.30	8.40	10.08
45	2.58	2.96	3.60	4.59	5.93	7.19	9.16	11.20
50	2.80	3.25	4.03	5.04	6.72	7.75	10.08	12.60

伏越管渠清掃業務(夜間)における管径・堆積率別換算表 別表A

夜間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	200~250	300	350	400	450	500	600	700
5	0.73	0.77	0.82	0.91	1.03	1.03	1.45	2.16
10	1.15	1.24	1.39	1.59	1.89	1.98	2.81	3.90
15	1.51	1.66	1.89	2.19	2.69	2.95	4.04	5.50
20	1.83	2.01	2.37	2.81	3.46	3.90	5.26	6.71
25	2.12	2.37	2.81	3.36	4.32	4.84	6.71	8.06
30	2.37	2.69	3.19	3.90	5.03	5.76	7.56	9.30
35	2.63	3.02	3.66	4.48	5.76	6.71	9.30	10.99
40	2.87	3.27	4.04	5.03	6.37	7.56	10.09	12.10
45	3.10	3.55	4.32	5.50	7.12	8.63	10.99	13.44
50	3.36	3.90	4.84	6.05	8.06	9.30	12.10	15.12

管渠清掃業務における管径・堆積率別換算表 別表B

昼間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000
5	0.20	0.25	0.31	0.38	0.45	0.57	0.58	0.71	0.84	1.04
10	0.55	0.70	0.87	1.05	1.25	1.58	1.63	1.96	2.33	2.90
15	1.00	1.27	1.57	1.89	2.26	2.86	2.94	3.53	4.24	5.17
20	1.51	1.93	2.38	2.86	3.42	4.33	4.42	5.44	6.42	7.85
25	2.08	2.65	3.26	3.93	4.71	5.89	6.06	7.31	8.83	10.60
30	2.68	3.42	4.24	5.05	6.06	7.57	7.85	9.64	11.16	14.13

管渠清掃業務(夜間)における管径・堆積率別換算表 別表B

夜間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000
5	0.25	0.31	0.39	0.48	0.56	0.71	0.73	0.89	1.05	1.30
10	0.69	0.88	1.09	1.31	1.56	1.98	2.04	2.45	2.91	3.63
15	1.25	1.59	1.96	2.36	2.83	3.58	3.68	4.41	5.30	6.46
20	1.89	2.41	2.98	3.58	4.28	5.41	5.53	6.80	8.03	9.81
25	2.60	3.31	4.08	4.91	5.89	7.36	7.58	9.14	11.04	13.25
30	3.35	4.28	5.30	6.31	7.58	9.46	9.81	12.05	13.95	17.66

伏越管渠清掃業務(夜間)における管径・堆積率別換算表 別表B

夜間施行 1m当たり

管径(mm) 土砂深率(%)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000
5	0.30	0.38	0.47	0.57	0.68	0.86	0.87	1.07	1.26	1.56
10	0.83	1.05	1.31	1.58	1.88	2.37	2.45	2.94	3.50	4.35
15	1.50	1.91	2.36	2.84	3.39	4.29	4.41	5.30	6.36	7.76
20	2.27	2.90	3.57	4.29	5.13	6.50	6.63	8.16	9.63	11.78
25	3.12	3.98	4.89	5.90	7.07	8.84	9.09	10.97	13.25	15.90
30	4.02	5.13	6.36	7.58	9.09	11.36	11.78	14.46	16.74	21.20

産業廃棄物処理作業（汚泥・市外）特記仕様書

[収集・運搬(積替なし)用]

本仕様書は、委託者（以下「甲」という。）から排出される産業廃棄物の収集・運搬に関して、次のとおり定める。

（目的）

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、甲から排出される産業廃棄物を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令に従って、適正に処理することを目的とする。

（委託内容）

第2条 乙は、自らの事業範囲を証するものとして、許可証の写しを契約書に添付しなければならない。なお、許可事項に変更があったときも同様とする。

2 甲が、乙に収集・運搬を委託する産業廃棄物の種類及び予定数量は、次のとおりとする。

種類：汚泥（汚水系汚泥）

数量：20 t（予定数量）

3 乙は、甲から委託された前項の産業廃棄物を、甲の指定する別紙の処分業者の事業場に搬入する。

4 乙は、甲から委託された産業廃棄物の積替えを行ってはならない。

5 乙は、第3項に指定する事業場以外では、甲から委託された産業廃棄物を処分するための保管を行ってはならない。また、第3項に指定する事業場において保管を行う場合は、法令に基づき、かつ、履行期間内に確実に処分できる範囲で行うものとする。

6 乙は、甲から委託された産業廃棄物の収集・運搬業務を他人に委託してはならない。ただし、履行期間中に収集・運搬業務を他人に委託する必要がある場合、乙は、書面による甲の承認を得て、法令の定める再委託基準に従うことにより、収集・運搬業務を再委託することができる。この場合において、乙は、甲の要求があったときは、この再委託を乙の責任において解除しなければならない。

7 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬にあたり、必要に応じて日時等を指示する。

8 乙は、甲又は甲の指定する職員の指示に従い、この業務を履行しなければならない。

9 甲は、産業廃棄物の搬出の都度、マニフェスト伝票に必要事項を記入し乙に交付する。

（義務と責任）

第3条 甲は、産業廃棄物の適正な処理のために必要な情報として、次の事項についてあらかじめ乙に提供するものとする。

(1) 産業廃棄物の性状及び荷姿

(2) 通常の保管状況での腐敗、揮発等性状の変化に関する事項

(3) 他の廃棄物との混合等により生ずる支障

(4) その他取扱う際に注意すべき事項

2 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬に支障を生じさせるおそれのある物質が混入しないように注意する。万一混入したことを知り得たときは、直ちに乙に通知しなければならない。

第4条 乙は、甲から委託された産業廃棄物を、その積み込み作業の開始から処分施設における荷降ろし作業が完了するまで、法令に基づき適正に処理する責任を負う。この間に発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）が生じたときは、その原因が甲の責に帰すべき

場合を除き、乙が責任を負う。

- 2 乙は、甲から委託された業務が終了した後、直ちに業務終了報告書を作成し甲に提出する。ただし、業務終了報告書は、マニフェストB 2票で代えることができる。

(検査等)

第5条 乙は、この業務が完了したときは、甲の指定する職員の検査を受けなければならない。

- 2 前項の検査の結果、不合格のものがあるときは、甲の指定する期日までに速やかに履行しなければならない。

(契約の解除)

第6条 甲、乙は、相手方がこの契約の各条項のいずれかに違反したときは、この契約を解除することができる。

- 2 前項の規定又は法令の規定によりこの契約を解除することができる場合であっても、この契約に基づき甲から引き渡しを受けた産業廃棄物の処理を乙が完了していないときは、当該産業廃棄物を甲乙双方の責任で処理した後でなければ、この契約は解除できない。

(協議)

第7条 この契約に定めのない事項については、上下水道局契約規程（平成16年横須賀市上下水道企業管理規程第11号）によりその例によることとされている契約規則（平成19年横須賀市規則第22号）に基づく甲の指示によるものとする。

- 2 前項の指示により難いとき又はこの契約に疑義が生じたときは、その都度甲乙が協議して決定する。

(仕様書第2条第3項関係)

処分又は再生を行う事業場

1 処分先 (中間処分又は最終処分)

事業場の名称 : 株式会社セイワ
所在地 : 神奈川県厚木市金田952番地1
処分の方法 : 中間処分
施設の処理能力 : 焼却1施設 1基 (6.88t/日)

2 再生先

事業場の名称 : _____
所在地 : _____
再生の方法 : _____
施設の処理能力 : _____

産業廃棄物処理作業（汚泥・市内）特記仕様書

[収集・運搬(積替なし)用]

本仕様書は、委託者（以下「甲」という。）から排出される産業廃棄物の収集・運搬に関して、次のとおり定める。

（目的）

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、甲から排出される産業廃棄物を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令に従って、適正に処理することを目的とする。

（委託内容）

第2条 乙は、自らの事業範囲を証するものとして、許可証の写しを契約書に添付しなければならない。なお、許可事項に変更があったときも同様とする。

2 甲が、乙に収集・運搬を委託する産業廃棄物の種類及び予定数量は、次のとおりとする。

種類：汚泥（雨水系の汚泥）

数量：160 t（予定数量）

3 乙は、甲から委託された前項の産業廃棄物を、甲の指定する別紙の処分業者の事業場に搬入する。

4 乙は、甲から委託された産業廃棄物の積替えを行ってはならない。

5 乙は、第3項に指定する事業場以外では、甲から委託された産業廃棄物を処分するための保管を行ってはならない。また、第3項に指定する事業場において保管を行う場合は、法令に基づき、かつ、履行期間内に確実に処分できる範囲で行うものとする。

6 乙は、甲から委託された産業廃棄物の収集・運搬業務を他人に委託してはならない。ただし、履行期間中に収集・運搬業務を他人に委託する必要がある場合、乙は、書面による甲の承認を得て、法令の定める再委託基準に従うことにより、収集・運搬業務を再委託することができる。この場合において、乙は、甲の要求があったときは、この再委託を乙の責任において解除しなければならない。

7 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬にあたり、必要に応じて日時等を指示する。

8 乙は、甲又は甲の指定する職員の指示に従い、この業務を履行しなければならない。

9 甲は、産業廃棄物の搬出の都度、マニフェスト伝票に必要事項を記入し乙に交付する。

（義務と責任）

第3条 甲は、産業廃棄物の適正な処理のために必要な情報として、次の事項についてあらかじめ乙に提供するものとする。

- (1) 産業廃棄物の性状及び荷姿
- (2) 通常の保管状況での腐敗、揮発等性状の変化に関する事項
- (3) 他の廃棄物との混合等により生ずる支障
- (4) その他取扱う際に注意すべき事項

2 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬に支障を生じさせるおそれのある物質が混入しないように注意する。万一混入したことを知り得たときは、直ちに乙に通知しなければならない。

第4条 乙は、甲から委託された産業廃棄物を、その積み込み作業の開始から処分施設における荷降ろし作業が完了するまで、法令に基づき適正に処理する責任を負う。この間に発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）が生じたときは、その原因が甲の責に帰すべき

場合を除き、乙が責任を負う。

- 2 乙は、甲から委託された業務が終了した後、直ちに業務終了報告書を作成し甲に提出する。ただし、業務終了報告書は、マニフェストB 2票で代えることができる。

(検査等)

第5条 乙は、この業務が完了したときは、甲の指定する職員の検査を受けなければならない。

- 2 前項の検査の結果、不合格のものがあるときは、甲の指定する期日までに速やかに履行しなければならない。

(契約の解除)

第6条 甲、乙は、相手方がこの契約の各条項のいずれかに違反したときは、この契約を解除することができる。

- 2 前項の規定又は法令の規定によりこの契約を解除することができる場合であっても、この契約に基づき甲から引き渡しを受けた産業廃棄物の処理を乙が完了していないときは、当該産業廃棄物を甲乙双方の責任で処理した後でなければ、この契約は解除できない。

(協議)

第8条 この契約に定めのない事項については、上下水道局契約規程（平成16年横須賀市上下水道企業管理規程第11号）によりその例によることとされている契約規則（平成19年横須賀市規則第22号）に基づく甲の指示によるものとする。

- 2 前項の指示により難いとき又はこの契約に疑義が生じたときは、その都度甲乙が協議して決定する。

(仕様書第2条第3項関係)

処分又は再生を行う事業場

1 処分先 (中間処分又は最終処分)

事業場の名称 : 田中石材土木株式会社
所在地 : 横須賀市佐島1丁目2番1
処分の方法 : 中間処分
施設の処理能力 : 脱水施設 (240 m³/ 8h)

2 再生先

事業場の名称 : _____
所在地 : _____
再生の方法 : _____
施設の処理能力 : _____

産業廃棄物処理作業（混合廃棄物）特記仕様書

[収集・運搬(積替なし)用]

本仕様書は、委託者（以下「甲」という。）から排出される産業廃棄物の収集・運搬に関して、次のとおり定める。

（目的）

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、甲から排出される産業廃棄物を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令に従って、適正に処理することを目的とする。

（委託内容）

第2条 乙は、自らの事業範囲を証するものとして、許可証の写しを契約書に添付しなければならない。なお、許可事項に変更があったときも同様とする。

2 甲が、乙に収集・運搬を委託する産業廃棄物の種類及び予定数量は、次のとおりとする。

種類：廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・
コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の混合廃棄物

数量：1 t（予定数量）

3 乙は、甲から委託された前項の産業廃棄物を、甲の指定する別紙の処分業者の事業場に搬入する。

4 乙は、甲から委託された産業廃棄物の積替えを行ってはならない。

5 乙は、第3項に指定する事業場以外では、甲から委託された産業廃棄物を処分するための保管を行ってはならない。また、第3項に指定する事業場において保管を行う場合は、法令に基づき、かつ、履行期間内に確実に処分できる範囲で行うものとする。

6 乙は、甲から委託された産業廃棄物の収集・運搬業務を他人に委託してはならない。ただし、履行期間中に収集・運搬業務を他人に委託する必要がある場合、乙は、書面による甲の承認を得て、法令の定める再委託基準に従うことにより、収集・運搬業務を再委託することができる。この場合において、乙は、甲の要求があったときは、この再委託を乙の責任において解除しなければならない。

7 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬にあたり、必要に応じて日時等を指示する。

8 乙は、甲又は甲の指定する職員の指示に従い、この業務を履行しなければならない。

9 甲は、産業廃棄物の搬出の都度、マニフェスト伝票に必要事項を記入し乙に交付する。

（義務と責任）

第3条 甲は、産業廃棄物の適正な処理のために必要な情報として、次の事項についてあらかじめ乙に提供するものとする。

- (1) 産業廃棄物の性状及び荷姿
- (2) 通常の保管状況での腐敗、揮発等性状の変化に関する事項
- (3) 他の廃棄物との混合等により生ずる支障
- (4) その他取扱う際に注意すべき事項

2 甲は、委託する産業廃棄物の収集・運搬に支障を生じさせるおそれのある物質が混入しないように注意する。万一混入したことを知り得たときは、直ちに乙に通知しなければならない。

第4条 乙は、甲から委託された産業廃棄物を、その積み込み作業の開始から処分施設における荷降ろし作業が完了するまで、法令に基づき適正に処理する責任を負う。この間に発生し

た損害（第三者に及ぼした損害を含む。）が生じたときは、その原因が甲の責に帰すべき場合を除き、乙が責任を負う。

2 乙は、甲から委託された業務が終了した後、直ちに業務終了報告書を作成し甲に提出する。ただし、業務終了報告書は、マニフェストB 2票で代えることができる。

（検査等）

第5条 乙は、この業務が完了したときは、甲の指定する職員の検査を受けなければならない。

2 前項の検査の結果、不合格のものがあるときは、甲の指定する期日までに速やかに履行しなければならない。

（契約の解除）

第6条 甲、乙は、相手方がこの契約の各条項のいずれかに違反したときは、この契約を解除することができる。

2 前項の規定又は法令の規定によりこの契約を解除することができる場合であっても、この契約に基づき甲から引き渡しを受けた産業廃棄物の処理を乙が完了していないときは、当該産業廃棄物を甲乙双方の責任で処理した後でなければ、この契約は解除できない。

（協議）

第9条 この契約に定めのない事項については、上下水道局契約規程（平成16年横須賀市上下水道企業管理規程第11号）によりその例によることとされている契約規則（平成19年横須賀市規則第22号）に基づく甲の指示によるものとする。

2 前項の指示により難いとき又はこの契約に疑義が生じたときは、その都度甲乙が協議して決定する。

(仕様書第2条第3項関係)

処分又は再生を行う事業場

1 処分先 (中間処分又は最終処分)

事業場の名称 : 木村金属工業株式会社
所在地 : 横須賀市内川2丁目4番36号
処分の方法 : 中間処分
施設の処理能力 : 破碎施設 (100.9584 t/8h)

2 再生先

事業場の名称 : _____
所在地 : _____
再生の方法 : _____
施設の処理能力 : _____

個人情報の取扱いに関する特記事項

(個人情報を取り扱う際の基本的事項)

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して個人情報を取り扱うときは、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(適正な取得等)

第2条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、この契約による業務の目的を正確に把握し、当該目的の達成に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により取得しなければならない。

(適正な管理)

第3条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、改ざん、き損及びその他の事故の防止その他の個人情報の安全かつ適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、個人情報の取扱いに関する責任体制を整備し、管理責任者を定めなければならない。

3 乙は、個人情報の保管に当たっては、この契約による業務により取得した個人情報とそれ以外の個人情報を明確に区分し、管理しなければならない。

4 乙は、委託者（以下「甲」という。）の指示または承諾があるときを除き、個人情報を乙の事業所内から持ち出してはならない。

(管理責任者等の教育及び研修)

第4条 乙は、個人情報の保護及び情報セキュリティに対する意識の向上を図るため、管理責任者及び従事者に対し、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）第5章（行政機関等の義務等）の内容並びに本特記事項において従事者が遵守すべき事項その他この契約による業務の適切な履行に関し必要な事項について、教育及び研修を実施しなければならない。

(個人情報に関する秘密の保持)

第5条 乙は、個人情報の内容を第三者に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、この契約による業務の処理の従事者が個人情報を管理責任者の承諾を得ることなく事務所以外の場所に持ち出し、又は不適切な取扱いにより第三者に漏らすことのないように、必要かつ適切な監督を行わなければならない。

(目的外利用等の禁止)

第6条 乙は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務の目的以外の目的に個人情報を利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複製等の禁止)

第7条 乙は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、業務を実施するために甲から提供された個人情報を複製し、又は複写してはならない。

(資料等の返還、引き渡し若しくは消去)

第8条 乙は、この契約による業務を処理するために甲から貸与され、又は乙が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに甲に返還し、又は引き渡し、若しくは消去しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、当該方法によるものとする。

2 乙は、前項の規定により電子記録媒体に記録された個人情報を消去する場合は、当該個人情報が復元できないように確実に消去しなければならない。

3 乙は、前項の規定により個人情報を消去した場合は、当該個人情報を消去した旨の報告書を甲に提出しなければならない。

(外部サービスの利用)

第9条 乙は、外部サービス（クラウドサービス、ウェブ会議サービス、ソーシャルネットワークワーキングサービス、ホスティングサービス等をいい、法令により設置されたもの又は行政機関等により設置される公共的な基盤等を除く。以下同じ。）であつて、当該外部サービス提供者が提示する約款等に乙が同意することで利用可能となり、契約等により乙から個別の措置を求めることができないもの（以下「約款等による外部サービス」という。）を利用しようとするときは、あらかじめ次の各号に掲げる事項を記載した書面を甲に提出しなければならない。

- (1) 外部サービスの名称
- (2) 外部サービスの提供者
- (3) 外部サービスを用いて行う業務の内容
- (4) 外部サービスで保管又は取り扱う個人情報
- (5) 外部サービスの利用の期間
- (6) 外部サービスの利用が必要な理由
- (7) 外部サービスにおける安全管理措置の内容

2 乙は、当該約款等による外部サービスの利用に関し、甲から指示のある場合、甲の指示に従い、必要かつ適切な措置を講じなければならない。

(再委託の禁止等)

第10条 乙は、個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託（以下「再委託」という。）してはならない。ただし、書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

2 乙は、個人情報の処理を再委託する場合及び再委託の内容を変更する場合は、あらかじめ次の各号に掲げる事項を記載した書面を甲に提出し、前項ただし書きの承諾を得なければならない。

- (1) 再委託の相手方
- (2) 再委託を行う業務の内容
- (3) 再委託で取り扱う個人情報
- (4) 再委託の期間
- (5) 再委託が必要な理由
- (6) 再委託の相手方における責任体制及び管理責任者
- (7) その他甲が必要と認める事項

3 乙は、前項の規定により個人情報を取り扱う事務を再委託の相手方（以下「再受託者」という。）に取り扱わせる場合には、乙と再受託者との契約内容に関わらず、再受託者の当該事務に関する行為について責任を負うものとする。

4 乙は、再委託契約において、再受託者に対する監督及び個人情報の安全管理の方法について具体的に指示しなければならない。

5 乙は、この契約による業務を再委託した場合は、その履行を監督するとともに、甲の

求めに応じて、再受託者の状況等を報告しなければならない。

6 乙は、再委託契約を行う場合には、この契約により第1条から前条までに規定する個人情報の取扱いに関する義務を再受託者にも遵守させなければならない。

(個人情報の取扱状況の報告等)

第11条 甲は、個人情報を保護するために必要な限度において、乙（再受託者を含む。）に対し、個人情報を取り扱う事務について管理状況の報告若しくは資料の提出を求め、又は乙（再受託者を含む。）の事務所に立ち入ることができる。

2 乙（再受託者を含む。）は、甲から個人情報の取扱いに関して改善を指示されたときは、その指示に従わなければならない。

(事故発生時等における報告)

第12条 乙（再受託者を含む。）は、個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざん等の事故（以下「漏えい事故」という。）が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙（再受託者を含む。）は、漏えい事故が生じた場合、当該事故の被害を最小限にするため、甲と協力して必要な措置を講じ、かつ、甲の指示に従わなければならない。

(契約の解除)

第13条 甲は、乙（再受託者を含む。）が本特記事項に定める事項に違反した場合若しくは義務を怠った場合には、この契約による業務の全部又は一部を解除することができるものとする。

(損害賠償)

第14条 乙（再受託者を含む。）は、本特記事項に定める義務に違反し、又は怠ったことにより甲が損害を被った場合には、甲の求めに応じてその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第15条 乙は、この契約における個人情報の取扱いについて疑義が生じたときは、甲と協議し、その指示に従わなければならない。

公共下水道管路施設維持管理業務委託（その2）

横須賀市公共下水道区域

